

部落問題東京講座開催のご案内

第10回 2024年

東京の部落を歩き、部落の人の話を聞き、
東京の部落問題を一緒に学ぶ。

今、東京でおきている差別事件とは？東京の部落の特徴とは？東京の部落の歴史とは？東京の部落問題の現実をどう研修に活かしていけばいいか？

公益社団法人東京部落解放研究所では、企業、行政、教育関係者、宗教者、労働組合、地域などで、部落問題研修の講師を担当している方や「人権担当者」向けに、部落問題に特化した「部落問題東京講座」を開催します。

東京の部落を歩き、部落の人の話を聞き、東京の部落の現実から学びます。そして、東京における部落問題研修を受講者の皆様と一緒に作りあげていきます。ぜひ、ご活用いただけますようお願い申し上げます。

1. 開催日程等

- 日程：2024年5月27日（月）、28日（火）、29日（水）
- 主会場：台東区民会館8階第5会議室（台東区花川戸2丁目6番5号）
- 対象：部落問題研修を実施する人権担当者及び講師。
- 受講料等： 「受講（全講義受講）」16,000円（税込）
＜「聴講（部分受講）」は1講座あたり4,000円（税込）＞
※当研究所は、インボイス制度非登録事業者です。
- 定員：「受講（全講義受講）」45名（フィールドワークは1コース15名）
「聴講（部分受講）」の方は1講座15名
- 主催：公益社団法人東京部落解放研究所
- 後援：部落解放同盟東京都連合会、東日本部落解放研究所、東京人権啓発企業連絡会、「同和問題」にとりくむ宗教教団東京地区連帯会議、東京都同和教育研究協議会

【問い合わせ】 公益社団法人東京部落解放研究所
台東区今戸2-8-5
TEL 03-3874-7332 FAX 03-3874-7313
e-mail starrabbit2068@gmail.com

2. 講義内容

5月27日(月)

9時45分 開講にあたって、主催者よりご挨拶

第1講 東京の部落と解放運動(概論) 45名(部分受講者15名)

10時—12時 講師：藤本忠義（公益社団法人東京部落解放研究所理事）

東京には歴史的に被差別部落が存在し、現在も部落差別があり、多くの被差別部落出身者が生活しています。第1講では、東京の部落問題の概要、解放運動と行政施策、差別事件の特徴、部落差別撤廃に向けた今日的課題など講座の開始にあたってガイダンスと問題提起を行います。

第2講 東京の差別事件と差別を許さない社会づくり 45名(部分受講者15名)

13時—16時 講師：近藤登志一（公益社団法人東京部落解放研究所常務理事）

1990年以降30年間、東京都連が取り組んだ主要な差別事件を紹介し、差別を許さない社会づくりについて問題提起します。N社差別身元調査事件、連続・大量差別はがき事件、土地差別調査事件、プライム事件（戸籍謄本等不正取得）、「全国部落調査」復刻版出版事件などを通して、東京における部落差別の現実を学びます。また、差別を許さない社会づくりのために、教育、啓発、研修について問題提起します。効果的な部落問題学習・研修について、グループ討論で深めます。

16時—17時 <ふりかえりの時間>

5月28日(火)

第3講 私の歩んだ道と東京に生まれて 45名(部分受講15名)

10時—12時 講師：北川京子（部落解放同盟東京都連合会執行委員）

高校生まで部落差別について全く知らずに育ちました。18歳の時に車で私の叔母の家の前を通ったときに同車していた人が「ここはこれのまちだよ。」と4本指をさして言いました、びっくりしました。被差別部落の人間をヨツ足動物と同じだと差別する動作だとは知っていたもののそんなことを言う人に驚きました。狭山差別裁判を知り、母の結婚差別を知り、差別の醜さ、理不尽さを思い怒りをとり戻すことができました。

第4講 東京の部落史を学ぶ 45名(部分受講15名)

13時—16時 講師：鳥山洋（東日本部落解放研究所事務局長）

本講では、部落史の基本的なことから確認した上で、東日本の部落史の中で、江戸・東京の部落史がどのように位置づけられるのかを考えます。近世から近代にかけて首都であった江戸・東京の部落の歴史には、他の地域にはない特色もあります。そうした点を中心に、歴史に学ぶことを通じて、現在の部落問題を考えるための視点を確かなものにしていきたいと思えます。

16時—17時<ふりかえりの時間>

特別講義 「芝浦と場」フィールドワーク事前学習会別講義

（芝浦と場フィールドワーク参加者は必須とします。）

17時—17時45分 講師：高城順（部落解放同盟品川支部書記長・と場労働者）

実際のと場を見学するにあたって、と場の仕事内容について、また食肉の仕事について、そこで働いている労働者の思いについて、事前に学習します。

翌日のフィールドワークにむけてと場の事前学習を行います。

5月29日(水)

第5講 フィールドワーク&地元部落と語り合う

*聴講の皆様はフィールドワークには参加できません。

*集合場所など詳細は資料集（受講時に配布）をご参照ください。

【A 荒川】

10時—16時 地区視察、皮革工場見学、地元部落との語り合い&感想会 15名

皮革工場を見学し、地域を歩いて、荒川の部落の歴史や皮革産業の実態、また差別の現実について、地元で差別撤廃の取り組みをしている人々と共に学びます。

【B 芝浦と場】

8時30分—15時 お肉の情報館と場見学と場労働者との語り合い&感想会 15名
実際のと場の仕事現場を見学し、そこで働く労働者と意見交換しながら、食肉産業に従事する思いや差別の現実などについて学びます。5月29日、**8時30分集合**となりますのでご注意ください。

【C 練馬】

10時—16時 練馬の部落史—地区視察—地元部落との語り合い&感想会 15名
練馬の部落を歩き、歴史とともに現在の差別の現実について、地元の歴史を研究している人や、差別撤廃の取り組みをしている方々の話を聞きながら、ともに学びます。

3. 受講の申込について

(1) 2通りの申込方法があります。ホームページからの申込を推奨します。

① 部落解放同盟東京都連合会ホームページ(「集会案内」)から申し込む

② 別項のA表(全受講の方)またはB表(聴講一部分受講の方)に記入して、FAXまたはe-mailにて申し込む。

FAX 03-3874-7313 e-mail starrabbit2068@gmail.com

(2) 申込締切：2024年5月10日

(3) 「受講決定通知書」と「受講料の請求書」「弁当引換券」等の発送

- ① 受講及び聴講には定数がありますので、事務局で調整させていただき、受講決定者には、「受講決定通知書」と「受講料の請求書」「弁当引換券」等を「関係書類送付先」宛に発送させていただきます。(尚、フィールドワークは、1か所15名に調整させていただきますので、ご希望に添えない場合があります。ご了承いただけますようお願い申し上げます。)
- ② 受講料等の振込が確認できますと申し込みは完了です。当日は「決定通知書」「弁当引換券」を持参していただき、時間厳守でご参加いただけますようお願い申し上げます。
- ③ 昼食にお弁当(緑茶パック付)を申込される方は、「申込書」に必ずその旨を記入してください。尚、お弁当代金は、受講料請求時に合わせてご請求させていただきます。(一食1,000円)

4. 会場アクセス

台東区民会館 〒111-0033 台東区花川戸2丁目6番5号
電話：03-3843-5391,03-3843-5392
[たいとうマップ | 地図表示 \(wagmap.jp\)](#)

(交通)

東武線浅草駅 正面改札口から徒歩5分
東京メトロ銀座線浅草駅 7番出口から徒歩5分
都営浅草線浅草駅 A4出口から徒歩8分
つくばエクスプレス線浅草駅 A1番出口から徒歩9分

【問い合わせ】 公益社団法人東京部落解放研究所
台東区今戸2-8-5

TEL 03-3874-7332

FAX 03-3874-7313

e-mail starrabbit2068@gmail.com